

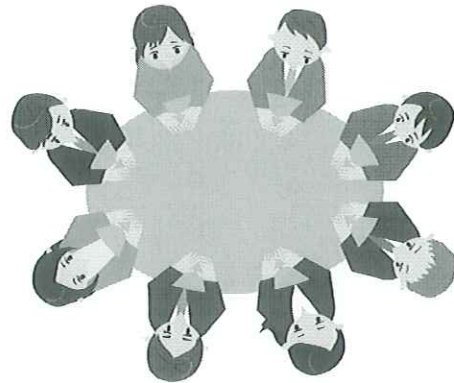
ほっかいどう て いくせいかい 北海道手をつなぐ育成会

ぜんどうたいかい おたるたいかいほんにんたいかい けつぎ あん
全道大会 小樽大会本人大会 決議(案)

けつぎ いぎ けつぎ いみ
<決議の意義(決議する意味)>

この決議文は、1995年旭川大会より大会に参加した本人同士が話し合っ
て作成しているものです。「～すること。」の「こと」を聞く人によっては、きつ
く受け取ってしまうかもしれない。けれど、私たちは、表現が難しい中
で、自分の思いを伝える機会が少なく、奪われてきました。障害者権
利条約第21条に「私たちには自分が伝えたい方法で自分の気持ちや考
えを伝える権利があります。」と書かれています。伝えきれない仲間が
いることを考え、文字にして自分たちの要求が伝わるように、正しい情
報となるように、決議し、伝え続けています。

1. 私たちに関することは、必ず私たちがまじえて話し合っ
て決めること。
2. 福祉サービスや、暮らしに必要な行政文書について、わかりやす
い言葉で、ちゃんと伝わるまで説明すること。
3. 私たちが楽しく自分らしい生活を送るために、必要な支援を受けら
れることにすること。
4. 私たちの就労(仕事)を保障すると共に、障害者雇用を増やし、賃金(工
賃)を上げ、国や道、行政は、所得補償、障害者雇用
に責任を持つこと。
5. 日常生活や、新型コロナウイルス感染症、災害の時に、障がいの事を理解し、個々
の障がいに合わせた対応(合理的配慮)をおこなうこと。
6. 日本では「障害者の権利条約」を受け入れました。「障害者差別解消法」が
平成28年4月から始まりまし
た。「障害者虐待防止法」は見直す必要があ
ります。私たち当事者の意見を聞き、よりよいものにしていくこと。
7. 障害のあるなしに関係なく、全ての子どもが地域の学校で、義務教育を受
ける権利を保障し、インクルーシブ教育システムの理念のもと、共に学ぶ体
制を整えること。



8. 2018年、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳の様式でカード化が可能になる法律改正がありました。しかし、北海道は財政難を理由に取り組んでいません。一日も早く実現をしてください。

9. 戦争の報道を聞くたびに心が張り裂けそうです。戦争は命あるものすべてに対する虐待、暴力であり、決して許してはならない優生思想そのものです。殺し合いからは何も生まれません。私たちは一日も早い平和を望みます。

2023年8月6日

第29回北海道手をつなぐ育成会全道大会小樽大会本人大会参加者100名の決議

＜本人決議文の歴史＞

1	1995年	旭川大会	210名	16	2010年	紋別大会	263名
2	1996年	伊達大会	207名	17	2011年	深川大会	328名
3	1997年	釧路大会	186名	18	2012年	音更大会	216名
4	1998年	留萌大会	280名	19	2013年	倶知安大会	192名
5	1999年	札幌大会	700名	20	2014年	函館大会	200名
6	2000年	網走大会	270名	21	2015年	北広島大会	272名
7	2001年	石狩大会	278名	22	2016年	旭川大会	223名
8	2002年	帯広大会	約300名	23	2017年	札幌大会	600名
9	2003年	小樽大会	374名	24	2018年	苫小牧大会	268名
10	2004年	函館大会	207名	25	2019年	名寄大会	270名
11	2005年	滝川大会	300名	26	2020年	北見大会	中止
12	2006年	旭川大会	300名	27	2021年	岩見沢大会	約100名 オンライン
13	2007年	洞爺湖大会	335名	28	2022年	帯広大会	約100名 オンライン
14	2008年	札幌大会	800名	29	2023年	小樽大会	約100名 オンライン
15	2009年	釧路大会	220名	30			